

# 議会だより

No.94

令和6年7月15日号

今月の渥美半島の花  
「ヒマワリ」



## 令和6年第2回定例会（6/13～6/27）

- 定例会で決まったこと・・・ 2 ページ
- 議案一覧・主な質疑・・・ 4
- 一般質問・・・ 6

## その他

- 議員とたはらトーク・・・ 16
- 議会の活動・・・ 17
- 政務活動費・・・ 17



栄養豊富な海を目指して  
『育てる漁業』を推進する！！

渥美漁業協同組合の皆さん（インタビュー18ページ）

# 含む全15議案を審議

令和6年第2回

定例会 (6月13日~6月27日)

## このようなことが決まりました

市長提出議案	14件
議員提出議案	1件

令和6年第2回定例会を6月13日から6月27日まで開催しました。  
市長提出議案14件のうち、人権擁護委員候補者の推薦3件は異議なしと決定し、固定資産評価員の選任を含む11件はいずれも原案のとおり同意・承認・可決しました。  
また、議員提出議案の意見書1件を可決し、国の関係機関に送付しました。

▷関連4~5ページ



市役所北庁舎の空調設備は、老朽化によって故障が発生しており、設置から40年経過した現在、部品確保ができないなど修繕対応が困難であるため、更新工事を行います。事務室内の工事は閉庁日に行うため、窓口サービスに支障はありません。

市役所北庁舎の空調設備を整備します

議案第46号市役所北庁舎空調設備整備工事請負契約

# 定額減税等補正予算を

議案第49号令和6年度一般会計補正予算（第1号）

## 太平洋ロングビーチの駐車場を整備します

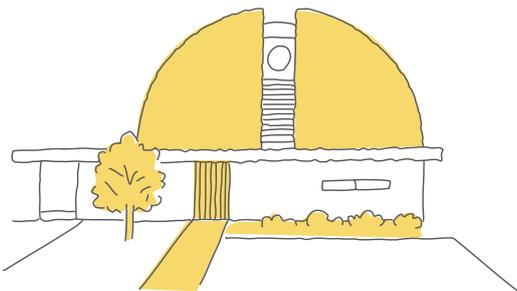
サーファーが多く訪れる太平洋ロングビーチの駐車場は、路上駐車など安全面でも課題があるため、整備を行います。また、2026年アジア大会会場としての活用も見据えています。



議案第49号令和6年度一般会計補正予算（第1号）

## 地震避難所に指定されている中学校の改修を行います

令和6年能登半島地震の被災地の状況を受け、避難所に指定されている市内中学校の環境整備に向け、屋内運動場の空調整備や施設のLED化を行います。



■令和6年第2回定例会議案一覧

議案 番号	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	議案 番号	意見書 1
	固定資産評価員の選任 (鈴木 洋充 氏)	人権擁護委員候補者の推薦 (大場 直子 氏)	人権擁護委員候補者の推薦 (鈴木 美代子 氏)	人権擁護委員候補者の推薦 (北野谷 充香子 氏)	専決処分の承認 (市税条例の一部改正)	専決処分の承認 (国民健康保険税条例の一部改正)	市税条例の一部改正	家庭の保育事業等の設備及び運営に 関する基準を定める条例の一部改正	市営住宅の設置及び管理に関する 条例の一部改正	田原市特定公共賃貸住宅の設置及び 管理に関する条例の一部改正	市役所北庁舎空調設備整備工事請負 契約	消防緊急通信指令施設整備工事請負 契約	公有水面の埋立て	令和6年度補正予算 一般会計(第1号)	議員提出議案 番号	厚生年金への地方議会議員の加入を 求める意見書

※議案番号欄が白の議案は、  
賛否が分かれた議案です。

## 主な質疑

議案に対する  
委員会・本会議での  
議員の質疑・意見です

議案  
No.41

専決処分の承認を求めることについて  
(国民健康保険税条例の一部改正)

課税限度額引き上げによる国民健康  
保険税の税額への影響は。

答 国民健康保険税のうち後期高齢者  
支援金等分に係る税額が対象とな  
り、昨年度の課税状況で試算する  
と、およそ720万円の増加とな  
る見込み。

問 軽減判定所得引き上げによる国民  
健康保険税の税額への影響は。

答 昨年度の課税状況で試算すると、  
軽減対象世帯数の増加により、5  
割軽減がおよそ90万円、2割軽減  
でおよそ30万円、合計で約120  
万円の税額の減額となる見込み。  
(6/20 文教厚生委員会)

議案  
No.46

市役所北庁舎空調設備整備工事請負契約

問 市役所北庁舎における事務室内で  
の工事施工もあると思うが、業務  
への支障はあるか。

答 事務室内の工事は、基本的に閉庁  
日である土曜日、日曜日、祝日に  
施工するため、業務に支障はない  
ものと考えている。

問 事務室内の工事は基本的に閉庁日  
である土曜日、日曜日、祝日に施工  
することだが、工期である令和  
7年7月までに完了できるのか。

答 事務に影響のない室外機設置等の  
工事は、土曜日、日曜日、祝日以  
外の閉庁日にも施工する。なお、  
空調を使用しない時期にしかでき  
ない工事もあるが、工期までに完  
了できるよう、受注者と綿密に調  
整を行って進めていく。  
(6/20 総務産業委員会)

議案  
No.49

令和6年度一般会計補正予算(第1号)  
定額減税補足給付金支給事業

問 給付金支給後に税の修正申告によ  
り、令和6年度分個人住民税額等  
に変更が生じた場合、補足給付金  
はどのように取り扱うのか。

答 修正申告によって過給付となった  
場合、既に給付した給付金の返還  
は求めず、不足額が生じた場合に  
み不足額を追加支給する。

物価等価格高騰支援給付金支給事業

問 給付対象世帯数1250世帯、当  
世帯の18歳以下の児童数250人  
となっているが、積算方法は。

答 本市の過去4年間における実績を  
基に積算した。また、令和6年度  
の課税情報なども参考にして積算  
を行っている。

赤羽福祉センター運営事業

問 委託料として計上している施設の  
営繕工事の内容は。

答 今年4月に発生した雨漏りや給湯  
設備の故障への対策として、施設  
の屋根の改修、空調、給湯設備の  
取り替え、施設内の照明をLED  
化するための設計に必要なものを  
計上している。

### 成人感染症予防事業

**問** 高齢者の新型コロナウイルス感染症の定期予防接種の自己負担を2千円とした理由は。

**答** インフルエンザ予防接種の自己負担額割合に合わせ、約3割の2千円とした。

### 担い手支援事業

**問** 募集は昨年度内であったと思うが、この時期に予算要求となった理由は。

**答** 当初予算の成立後に経営開始資金の受給要件を満たすことになった対象者がいたため。

### 観光施設整備事業

**問** この計画の内容は。

**答** 太平洋ロングビーチにおいて、西側の未舗装の既存の駐車場の一部拡張工事の実施、及び新たに整備する駐車場の整備に向けて測量設計の発注を行うものである。今回の工事と測量設計業務は、2026年のアジア競技大会への活用も見据えて計画した。

### 中学校管理運営事業

**問** 導入する移動式バスケットゴールの納入時期はいつ頃の予定か。

**答** 受注生産のため納入には発注後数カ月かかる。年度内なるべく早い時期に導入していきたい。

### 中学校整備事業

**問** 市内4中学校の屋内運動場の空調及び施設のLED化の設計が当初予算ではなく、今回の補正予算となった理由は。

**答** 令和6年1月に発生した能登半島地震を受け、避難期間の長期化対策として、地震避難所の環境整備が喫緊の課題として認識され、地震避難所に指定されている市内4中学校の屋内運動場の空調設備及び施設のLED化をできる限り早期に進めるため。

(6/21 予算決算委員会)

### 陳情を審査しました

▽最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情

他6件

総務産業委員会及び文教厚生委員会で陳情をそれぞれ審査した結果、全て不採択となりました。

※陳情結果はホームページでもご覧いただけます。



## 討 論

議案に対する  
本会議での議員  
の賛成・反対の  
表明です

### 意見書案 No.1

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

### 反対 (岡本重明)

国民年金であっても安心して生活ができる年金改革の方向を考え、年金の矛盾を是正する方向で行動するのが議員の仕事という視点から、議員職に就いた者が生活の安定のために厚生年金に入るなんて言う意見書は、議員の自己保身である。国民年金であっても安心して生活ができる年金改革の方向を考えるのが議員のすべき仕事だ。また、国民年金はすべて自分で負担するが、厚生年金は所属する組織が半額負担することになり、歳費の上乗せにつながる。意見書には断固反対する。

### 賛成 (岡本禎稔)

今回の意見書は厚生年金への加入を求める意見書であり、加入が決まったわけではない。また、全国の市議会の50%以上が意見書を提出したことを受け、本市も提出するものである。よって意見書の提出には賛成する。

## 賛否が分かれた意見書案

■意見書案第1号 「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」

結果 (賛成:反対)	小川 金一	内藤 浩	村上 誠	辻 史子	柳元 浩幸	山上 勝由	真野 尚功	古川 美栄	岡本 禎稔	鈴木 和基	小川 貴夫	中村健太郎	岡本 重明	古川 幸宏	中野 哲伸	平松 昭徳	内藤喜久枝	中神 靖典
可決 (16:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

### 意見書を送付しました

▽厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

6月27日の本会議において賛成多数で可決し、内閣総理大臣などに意見書を提出しました。

※内容はホームページでもご覧いただけます。



ここが聞きたい

# 一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

## 高等学校の継続性について関係機関と連携して行う取り組みとは

情報交換や課題の共有を行い、今後必要な対応等に取り組んでいく



まの ひさかつ  
真野 尚功  
自由民主党田原市議団



## 子ども・若者に向けた魅力づくりについて

**問** 若者の転出が転入を上回る社会減の現状をどのように捉え、若者の定住促進について、今後どのように取り組むのか。

**答** 高校等卒業後の進学や就職等により、都市部へ転出する若者が多いことが社会減の要因だと考えている。多様な就労の場を確保するとともに、住宅用地の提供や民間宅地開発事業への支援、定住・移住促進奨励金の交付や空き家・空き地の有効利用、公共交通や買い物等の生活利便性の向上に取り組むなど、時代の変化に応じた行政サービスを提供し、若者の定住促進に向けた魅力づくりに努める。

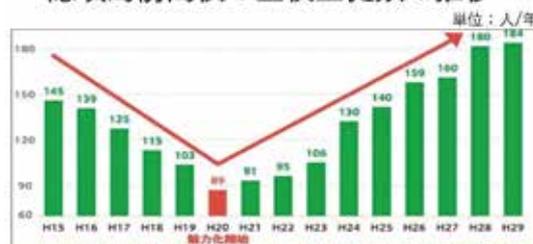
**問** 子どもたちに地域の魅力を知ってもらうために小中学校で行っている教育は。

**答** ふるさと学習を行い、総合的な学習の時間等に、地域の産業や自然、歴史や伝統文化等を教材として、自ら感じ、考え、行動する力等の育成、地域の魅力を知るとともに、ふるさとへの誇りと愛着の醸成、地域社会に生きる意欲の喚起等を目指している。

**問** 小中学校での学びをその後も生かしていくためには、特に地域の高等学校での学びが重要である。市内に立地する高等学校の継続性について関係機関と連携していく取り組みとは。

**答** 市内4中学校と市内3高等学校の間では、進路指導に限らず、キャリア教育、ふるさと学習についても連携や情報交換を行っている。市内3高等学校とは、引き続き課題の共有と、今後必要な対応等について連携して取り組んでいきたい。

隠岐島前高校の全校生徒数の推移



出典：島根県立隠岐島前高校ホームページ、<http://miriyokuka.docen.ed.jp/about/>



つじ 史子  
公明党田原市議団

## 軟骨伝導イヤホンを設置していく考えは

窓口での手続きに効果的な方法の一つであるため、今後検討していく



### 難聴者の意思疎通の支援について

- 問** 難聴の方の窓口対応の際、苦慮していることは。
- 答** 少し大きな声で窓口対応することがあり、内容などが周りに聞こえてしまう状況が生じる事がある。
- 問** 軟骨伝導イヤホン(※)を相談窓口を設置する自治体や金融機関、病院が増えているが、本市の窓口を設置していく考えは。
- 答** 軟骨伝導イヤホンが窓口での手続きに効果的な方法の一つであると考えているため、その他のさまざまな方法とも比較しながら、難聴の方への対応について検討する。
- 問** 難聴の高齢者について、どのような対応が必要であると考えているか。
- 答** 難聴を放置すると、認知機能の低下を招くことなどを周知・啓発するなど、早期発見に向けて取り組むことが重要であると考えている。

- 問** 補聴器を適切に使える体制を整備するとともに、財政的な支援を検討すべきだと考えているが、購入費用の助成制度を創設する考えは。
- 答** 補聴器の使用による効果や助成制度についての課題を整理するとともに、制度化の必要性について検討していく。



※軟骨伝導イヤホン  
耳周辺の軟骨の振動を通じて音が聞こえる軟骨伝導を応用したもので、イヤホンを入らなくても明瞭に音が聞こえ、音漏れが少ない。



### 一般質問

- |      |       |                           |
|------|-------|---------------------------|
| P 6  | 真野 尚功 | 子ども・若者に向けた魅力づくりについて       |
| P 7  | 辻 史子  | 難聴者の意思疎通の支援について           |
| P 8  | 村上 誠  | 地域コミュニティ活動等支援制度について       |
| P 8  | 山上 勝由 | 結婚支援施策について                |
| P 9  | 内藤 浩  | 行財政運営における公共施設の適正化について     |
| P 10 | 古川 幸宏 | 商業振興支援について                |
| P 10 | 中村健太郎 | 子ども・若者施策について              |
| P 11 | 内藤喜久枝 | 赤羽根福祉センターの在り方について         |
| P 12 | 小川 貴夫 | 職員の採用方法と働き方改革について         |
| P 13 | 中野 哲伸 | 飼い主のいない猫の問題について           |
|      |       | タクシー不足に対する今後の取り組みについて     |
| P 14 | 小川 金一 | 新しいビジネスモデル創出のための取り組みについて  |
| P 15 | 岡本 重明 | 市民の日常生活利便性向上に向けたまちづくりについて |

# 施設整備への補助金制度の見直しは

今の時代やニーズに合った支援制度を検討



村上 誠  
自由民主党田原市議団



## 地域コミュニティ活動等支援制度について

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大による行動自粛等によって、助け合いの体制が弱体化しているのでは。

**答** 各地域コミュニティにおいては、行動自粛期間があった中でも可能な範囲で地域活動を継続し、地域活性化に取り組んできている。

**問** 新型コロナウイルス感染症5類変更後の地域コミュニティ活動の取り組み状況は。

**答** コロナ禍以前の活動の多くが再開されつつある。また、コロナ禍がこれまでの慣習や活動を見直すきっかけとなり、地域活動の取捨選択や実施方法の工夫に取り組んでいるコミュニティもある。

**問** 少子高齢化による役員の担い手不足等、自治会などが抱えている問題への対応は。

**答** 人口減少や少子高齢化が進む中であっても、地域活動が停滞することなく、地域コミュニティの維持に過重な負担がかからないよう、計画や支援制度の見直しを実施している。

**問** 老朽化した施設の撤去費用を補助対象とするなど、施設整備への補助金制度の見直しは。

**答** 近年では資材費や労務費の高騰などにより、事業費自体が確保できないという声や、集会所の所有自体を見直したいという意見も伺っている。負担の少ない所有形態や施設の在り方について調査研究を進めるとともに、補助対象や補助上限について、今の時代やニーズに合った支援制度となるよう前向きに検討する。



## 結婚支援施策について

**問** 10月から新たに結婚支援センター運営業務を行う民間事業者への期待は。

**答** 会員登録数の増加や婚活イベントにおけるカップル成立数の確保、SNS等を活用した情報発信の手法等、当事者のニーズに合ったさまざまな提案を期待している。

**問** 婚活イベントに女性の参加者が少ないという課題があるが、解消に向けた取り組みは。

**答** 魅力あるイベントを企画し、多くの方に興味を持って参加してもらえるよう、情報発信に力を入れていく。

**問** 補助金制度の活用による婚活イベント開催推進の取り組みは。

**答** 市内で婚活支援に理解のある団体や企業にこの制度を再度周知し、イベント実施を促していく。

**問** 結婚新生活支援事業補助について市民からの声は。

**答** 「経済的不安の軽減に役立った。自分たちの結婚が地域に応援されていると感じる」との回答があった。

## 結婚支援の取り組みは

今後、民間事業者の専門的なノウハウを活用する



山上 勝由  
自由民主党田原市議団





ないとう ひろし  
内藤 浩

自由民主党田原市議団



# 廃止される江比間野外活動センターの 取り扱いは

豊橋市と施設の取壊しを含め、財産処分等について調整している

## 行財政運営における公共施設の適正化について

**問** 第4次行政改革大綱における公共施設適正化の取り組みの成果は。

**答** 田原市福祉専門学校の民営化や、高松・赤羽根・若戸保育園の統合・民営化、各分野における個別施設計画の策定などが挙げられる。また、学校プールの集約化や資源化センターの統合、赤羽根市民センター周辺の公共施設再編、あつみライフランドの機能の複合化等についても検討を進めている。

**問** 用途廃止施設のうち、学校や保育園などの施設の現状と今後の取り扱いは。

**答** 用途廃止した学校と保育園のうち、旧伊良湖岬小学校と旧北部保育園については、利活用の可能性がないという結論に至ったため、現在解体に向けた手続きを進めている。また旧泉中学校と旧若戸保育園については、現在地域や民間利用の可能性について検討を進めている。施設の維持には管理費が必要となることに加え、安全面や防犯面も心配されるので、スケジュール感をもって検討を進めていく。

**問** 施設の用途が廃止される、令和7年3月31日以降の江比間野外活動センターの取り扱いについての状況は。

**答** 豊橋市と同施設の取壊しを含め、財産処分等について調整している状況である。



**Coffeeで婚活**

8/25(日) 13:30-17:30

申込締切日/5/31

グループで話を聞いてコーヒーを淹れたり、デワインカプチーノを体験したり、自然と自然がでる交流の企画です。コーヒーが苦手な方も大丈夫です。

対象者 30～45歳の独身の方  
居住先は田原市または在籍地の女性(未婚の方からでもOK)

参加費 男性1,000円 女性500円  
(コーヒーも別料金です)

開催定員 男女各50名(定員超過の場合は抽籤)  
抽籤は参加者全員参加です

場 所 親子交流館すくっと2階のチャイルドルーム  
田原市健康福祉局大3-1

申込みはこちらの申込みフォームから  
※申し込みは、締切日に実施となります。

お問い合わせ先(フリーダイヤル) 0120-222-1111

主催 豊橋市健康福祉局 企画・運営 豊橋市健康福祉局  
協賛 豊橋市健康福祉局 企画・運営 豊橋市健康福祉局

**問**

多くの方に、この補助を受けてもらえるよう、補助要件の撤廃または緩和する考えは。

**答**

国の交付金を活用した補助制度であり、田原市が独自で補助要件を撤廃、緩和する考えはないが、今後機会があれば国に対して補助要件の緩和等意見していく。

# 商業振興支援について市の考えは

関係機関と一体となって必要な支援をする必要がある



ふるかわ ゆきひろ  
**古川 幸宏**  
自由民主党田原市議団



## 商業振興支援について

**問** 中小企業者・小規模企業者への支援について本市の考えは。

**答** 金融機関との連携により必要な資金融資の円滑化を図るとともに、設備導入や環境整備、空き店舗の解消、農工商連携の促進などの事業を総合的に支援していく。また、指導育成を担う商工会に必要な支援を行うことにより、地域全体の発展に結びつけていきたい。

**問** 本市の創業・事業承継支援の取り組みは。

**答** 市と商工会、地元金融機関などで組織する田原創業支援ネットワークが、支援を必要とする創業者に対して総合的な支援を行っている。また、事業承継に悩む経営者への支援として、市役所において毎月1回、より専門的な事業承継の相談に応えるため、ファイナンシャルプランナーや中小企業診断士などの相談員を招き、事業承継個別相談会を開催している。

**問** 小規模企業振興基本条例の制定の検討状況は。

**答** 商業を中心とした実態を把握するための社会経済動向の基礎調査を行うとともに、中小企業・小規模企業の振興基本条例制定に向けて商工会、産業経済団体などから必要な意見を頂いている。

**問** (仮称) 産業会館の整備について市の考えは。

**答** 現在設計中の(仮称)産業会館には、産業経済団体や異業種間の交流が図られ、さまざまなことを議論できる場所が必要と考えている。創業者や創業を希望される方が集まりやすい施設にしていきたい。



## 子ども・若者施策について

**子ども・若者の意見を施策に反映させるための環境整備についての考えは**  
目的や対象に応じたさまざまな方法により、子ども・若者の意見が聴ける環境整備を充実していく



なかむら けんたろう  
**中村 健太郎**  
国民民主党田原市議団



**問** 第2次総合計画策定時に実施された「若者WEBアンケート」で寄せられた回答をどのように活用したのか。

**答** 市民意識調査の結果などとともに、総合計画審議会で揭示し、審議の基礎資料として活用することで、施策立案につなげている。

**問** 子ども・若者を中心とした会議体について、市の考えは。

**答** 子どもや若者が市政に参画し、政治や行政に興味を持つきっかけとなる一方、常設の会議体は限られたメンバーで実施されるものであり、政策等へ意見を反映させる仕組みとしての効果は明確な評価が難しいと考えている。

**問** 他市のように、市が運営する若者議会のような会議体を設置する考えはあるのか。

**答** 若者議会のような会議体の設置については、効果をしっかりと検証した上で判断する必要があると考えており、現時点で設置の考えはない。



ないとう きくえい  
内藤 喜久枝  
自由民主党田原市議団



## 市が考える赤羽根福祉センターの課題は

施設の活用方法と機能統合及び大規模改修を含めた老朽化対策

### 赤羽根福祉センターの在り方について

- 問** 市が考える赤羽根福祉センターの現状と課題は。
- 答** 現在、赤羽根福祉センターは地域の障害・介護・医療の拠点となっている。その他、施設内の会議室等は各種の会合や地域のグループ活動等に利用されている。その会議室等の活用方法及び機能統合、また、施設の大規模改修を含めた老朽化対策が課題となっている。
- 問** 当施設は田原市における東西の中間地点に位置し、市全体を活動範囲として事業拠点とするのに適していると思うが、そのような考えはあるのか。
- 答** 民間需要も含めた市全体の状況を踏まえて検討する。
- 問** 今後も当施設の中で、介護予防教室等の活動の開催を継続していくのか。
- 答** 利用者の意見も伺いながら、介護予防教室の開催を考えていく。

- 問** 旧赤羽根町区域における介護保険のデイサービスセンターの必要性について、市の考えは。
- 答** 現状デイサービスセンターが1施設のみの旧赤羽根町区域においては、今後も介護保険のデイサービスセンターは必要であると考えている。
- 問** 旧赤羽根町が地域の要望に応え、介護保険制度開始前からデイサービスを開いたという当初の経緯と、旧赤羽根町区域内の唯一のデイサービスであるという現状を踏まえ、今後赤羽根デイサービスセンターの事業継続について、市の考えを問う。
- 答** これまでと同様に、赤羽根デイサービスセンターは社会福祉法人福寿園に事業継続していただく考えである。



- 問** 民間の団体や組織が主体となって運営する場合には、市としての人的・財政的な支援を行う考えはあるのか。
- 答** 提案内容や段階に応じて、既存制度の活用を含め、適切な支援を検討していく。
- 問** 子ども・若者に対し、意見を表明する機会への参加意欲を確認するアンケートを実施する考えはあるのか。
- 答** 今後、計画づくりなどでアンケートを実施する機会があるので、その際に実施を検討する。



# 社会人採用試験の課題は

収入面では転職の優位性が欠ける点がある



おがわ たかお  
小川 貴夫  
自由民主党田原市議団



## 職員の採用方法と働き方改革について

**問** 総合能力試験の評価は。

**答** 公務員試験を躊躇する学生の受験につながり、より多様な人材の確保が可能になった。

**問** 社会人採用試験の課題は。

**答** 現行の制度において、給与決定では民間等での給与相当に満たない状況が多く、収入面では転職の優位性が欠ける点が課題と考える。

**問** 収入面での課題を克服するための考えは。

**答** 昇任昇格制度の運用等について研究を行い、転職者にも魅力のある人事給与制度を研究していきたい。

**問** 採用枠の工夫とは。

**答** Iターン、Uターン採用等、これまで実施していない採用枠を検討していきたい。

**問** 特定ポストへの採用とは。

**答** 行政の中で特に高度な専門分野について、一定の期間、本市の課題解決に有用な人材の確保が必要になった場合には、特定ポストでの採用を検討していきたい。

**問** 副業によるメリットは。

**答** 他業種を経験することで職員の見識が広がるきっかけとなる。

**問** 教職員も副業制度を取り入れ、休日の部活動に指導者として参加できる仕組みが必要では。

**答** 兼業兼職承認申請書の提出により判断するという現在の制度で対応する。



## 議会ホームページで本会議(一般質問)の映像を見ることができます



パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議（一般質問）の映像を見ることができます。

### 利用方法

- ①下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>



なかの あきのぶ  
中野 哲伸  
自由民主党田原市議団



## 飼い主のいない猫の問題に対する本市の課題は

地域の理解を得ることや、猫の問題解決に取り組む担い手づくりが課題だと考えている

### 飼い主のいない猫の問題について

**問** 地域猫活動が地域の環境問題を解決する一つの手段になり得ると思うが、市の考えは。

**答** 本市としても、地域猫活動は地域の環境問題を解決する一つの有効な手段であると考えている。

**問** 地域猫活動を進めていく上で、地域の理解や担い手づくり等は課題が多いと思うが、今後どのように進めていくのか。

**答** 新たにセミナーや地域猫活動をテーマとした市政ほーもん講座の開催等を行うことで、活動に対する理解と機運を高め、活動主体となり得る担い手づくりに取り組むなど、地域猫活動の推進につなげていきたい。



### タクシー不足に対する今後の取り組みについて

**問** 本市における自家用車活用事業（日本版ライドシェア、日本型ライドシェア）導入についての考えは。

**答** タクシー不足を補う手法はライドシェアのみではないため、ライドシェアも含めたさまざまな手法の中から、本市で実現可能な方法を検証していく必要があると考えている。

**問** タクシー不足解消に対する取り組みは、田原市地域公共交通会議の分科会にて、国、タクシー事業者、学識者と検討していくとのことだが、市民の声をどのように反映するのか。

**答** 分科会においては、飲食店や旅館組合など各種団体等にも意見を伺い、必要に応じて委員にも参画していただきたいと考えている。また、公共交通会議本体においても、老人クラブやコミュニティ協議会等、各分野の代表委員にも意見を伺っていただきたいと考えている。

## スマートフォンで議会だよりが読めます

無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」

をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



### 利用方法

- ①下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ②「マチイロ」をダウンロード
- ③個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



[https://machiiro.town/lq/aichi\\_tahara](https://machiiro.town/lq/aichi_tahara)

# ビジネスモデルを創出するための推進組織は

必要に応じてプロジェクトチームを立ち上げ、ビジネスモデルの成長につなげる



おがわ きんいち  
**小川 金一**  
自由民主党田原市議団



## 新しいビジネスモデル創出のための取り組みについて

**問** 新しいビジネスモデル創出のための調査分析事業報告書にまとめられている、事業実施の必要性や可能性についての検討状況は。

**答** 調査分析事業報告書は関連部署で情報を共有し、特に新規事業を考えるための参考資料として活用している。農業分野では、農家の農作業課題に対し、生産水準の維持や生産性向上を目的としたスマート農業推進補助制度を設け、スマート農業の普及を推進している。また、漁業分野では新たな水産資源の可能性について、愛知県と漁業協同組合と引き続き、調査検討を重ねている。そして、観光分野では渥美半島観光ビューロー伊良湖温泉部会が中心となり、シャトルバスの運行や伊良湖温泉の誘客を行っている。さらに、地域資源を活用したキッチンカーなどのビジネスの新展開を促し、中小企業者の事業実施の可能性を高めている。

**問** 情報を共有している関連部署は。

**答** 農林水産部の農政課、農業公園管理事務所、営農支援課、商工観光部の商工課、企業立地課、観光課、市民環境部の環境政策課と情報を共有している。

**問** 水産資源の可能性について、引き続き調査検討を重ねているとのことだが、具体的な内容は。

**答** 愛知県水産課と東三河漁協青年部連絡協議会が、カキの商品化に向けて、生育等の実証研究に取り組んでいる。

**問** プロジェクトチームを作って部署横断的に取り組むことが必要だと考えるが、本市の考えは。

**答** 必要に応じてプロジェクトチームを立ち上げ、ビジネスモデルの成長につなげる。



## 田原市議会の個人情報保護制度の施行状況

田原市議会の個人情報の保護に関する条例第51条の規定に基づき、令和5年度の施行状況を次のとおり公表します。

### ■ 開示請求等の施行状況

開示請求	決 定 の 内 容				訂正請求	利用停止請求	審査請求
	全部開示	一部開示	不開示	うち不存在			
0件					0件	0件	0件



おかもと しげあき  
岡本 重明  
青嵐会

## 日常生活利便性の地域間差異が地場産業に与える影響は

若い世代の流出や地域の高齢化を進行させる傾向があり、担い手減少の一因であると捉えている



### 市民の日常生活利便性向上に向けたまちづくりについて

**問** 日常生活利便性の地域間差異が農業・漁業・個人商店に与える影響をどう捉えているのか。

**答** 若い世代の流出や地域の高齢化を進行させる傾向があり、担い手減少の一因であると捉えている。

**問** 移動の日常生活利便性が重要と考えるが、市の考えは。

**答** 市民の移動に係る重要性は高いものと認識しており、市街地と集落を結ぶ市内幹線道路の整備や、公共交通の確保・維持・改善に取り組んでいる。

**問** 公共交通網の空白地域への対策は。

**答** 地域の意向等を踏まえながら、新たな運行システムの導入等、検討を進めていく。

**問** 地域間差異のある地域への日常生活利便性向上に向けた対策は。

**答** 交通アクセスの確保・維持改善や、福祉・医療における訪問系サービスなどの実施、児童生徒への通学支援など、引き続き日常生活利便性向上に努めていく。

**問** 市街化調整区域において国や県の補助事業対象で制約があるとのことだが、具体的には。

**答** 中心市街地活性化事業や市街地再開発事業は市街化区域に限られており、市街化調整区域は対象外となっている。

**問** 市街化調整区域の市民の日常生活利便性向上に向けて、今後どのような独自の施策を実施していくのか。

**答** 継続的に公共交通の見直しを行い、ネットワークの維持・確保に取り組むとともに、DX等の推進により、居住地近辺でサービスが受けられるような環境整備を検討していく。

**問** 通知内容を理解できず支援が受けられない高齢者への行政の対応は。

**答** 必要に応じて各世帯を訪問する。

お知らせ information

## 令和6年第3回定例会（9月定例会）会期

9月2日（月）～9月27日（金）

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2 本会議 (議案審議)	3	4 本会議 (一般質問)	5	6	7
8	9 文教厚生委員会 総務産業委員会	10 予算決算委員会 (補正予算)	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19 予算決算委員会 (決算認定)	20 予算決算委員会 (決算認定)	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25 議会運営委員会	26	27 本会議 (採決等)	28
29	30	10/1	2	3	4	5

開会時刻は10時です。(9月9日の総務産業委員会は13時30分)

※日程および時間は、変更になる場合があります。

☐マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。

# 議員とたはらトーク

若戸市民館、神戸市民館、清田市民館において、令和6年第1回定例会の議会報告会及び各会場のテーマごとに意見交換を行いました。いただいたご意見は全て議員全員で共有し、政策提案の検討材料としています。  
※ご意見は抜粋して掲載しています。



## 4月23日 若戸市民館

意見交換会  
テーマ

- 1、赤羽根市民センターと文化会館の施設再編について
- 2、猫問題について
- 3、自治防災について

- 1、回覧だけでなく周知方法を徹底してほしい。
- 2、地域猫活動で住民が協力して活動できる仕組みが必要。
- 3、避難所運営に女性が参加できるようにする準備をしておく必要がある。

## 4月24日 神戸市民館

意見交換会  
テーマ

- 1、自治会の成り手不足について
- 2、空き家対策について
- 3、高齢化対策について

- 1、年齢を引き上げたり、仕事の役割を分けたりして対応している。
- 2、人口減少や高齢化などさまざまな要因が絡んでおり、総合的な対応をしなければ解決はできない。
- 3、高齢福祉に関わるボランティア人材の発掘・育成を充実してほしい。



## 4月25日 清田市民館

意見交換会  
テーマ

- 1、少子高齢化問題の対応策について
- 2、市街化区域における防災・減災対策について
- 3、農業・漁業者の取り組みと課題について

- 1、地域コミュニティの高齢化による人手不足のため若い人の負担が大きい。世代交代が必要だが若い人がいない。
- 2、山側から海への縦水路の整備ができていないので、拡張整備が必要。
- 3、行政と農業者の間には、施策の考え方に乖離がある。



## 議員とたはらトークin赤羽根図書館

地域のまちづくりやイベントに関すること、その他自由なテーマで議員と意見交換してみませんか。

- 日 時：令和6年8月17日（土）午後1時30分から午後3時まで（受付は午後1時から）
- 場 所：赤羽根文化会館文化ホールメインロビー
- 定 員：30人程度
- 申込方法：8月8日（木）までに電話またはメールで議会事務局までお申し込みください。（お名前、連絡先）
- 実施方法：ワークショップ型の意見交換会です。5名程度のグループに分かれて、グループの中で議論するテーマを決め、そのテーマについて意見交換を行います。
- 申込・問合せ先：田原市議会事務局 ☎0531-23-3533 ✉gikai@city.tahara.aichi.jp

5月17日  
広報広聴委員会勉強会



議員とたはらトークのオンライン化を検討するため、Zoomの勉強会を開催しました。

6月7日  
アメリカプリンス頓市及びギブソン郡表敬訪問



市の友好都市であるアメリカプリンス頓市及びギブソン郡の訪問団の皆さんが6年ぶりに来訪しました。

6月24日  
中山小学校議場見学



中山小学校の3年生の皆さんが庁内見学の一環で議場に訪れました。

6月29日  
田原市ゲームスポンサー「花だメロンだ波乗りだ! 渥美半島たはらデー」



市がゲームスポンサーを務めたプロ野球公式戦の開催に合わせて実施した市のPRイベントに議長が参加しました。

7月1日  
田原南部小学校議場見学



田原南部小学校の6年生の皆さんが議会の仕組みを学ぶために議場に訪れました。

7月2日  
総務産業委員会市外視察



（株渥美フーズのオアシスファームの取り組みと、静岡県浜松市の村楡保令地区次世代施設園芸推進事業の取り組みを視察しました。

## 令和5年度政務活動費

### 令和5年度収支報告

会派名	所属議員数（期間）	交付額（円）	支出額（円）	返還額（円）
自由民主党田原市議団	13人（R5.4.1～R6.3.31）	3,120,000	3,002,737	117,263
市民クラブ	2人（R5.4.1～R6.3.31）	480,000	266,398	213,602
公明党田原市議団	1人（R5.4.1～R6.3.31）	240,000	240,191	0
青嵐会	1人（R5.4.1～R6.3.31）	240,000	0	240,000
国民民主党田原市議団	1人（R5.4.1～R6.3.31）	240,000	13,493	226,507

詳しい収支は、田原市議会ホームページをご覧ください。

### 政務活動費とは

議員の調査研究、その他の活動をするために必要な経費の一部として、会派に交付される費用です。

田原市議会では、1人当たり、年間24万円（月額2万円）を会派に交付し、領収書等を添付した収支報告書が提出されています。

年度ごとに精算し、残額がある場合は、市に返還しなければなりません。

東三河の各市の状況は…

《議員1人当たりの交付額》（令和5年度現在）

豊橋市議会	年間	108万円
蒲都市議会	年間	29万円
豊川市議会	年間	27.6万円
田原市議会	年間	24万円
新城市議会	年間	15万円



# まちかど インタビュー

Vol.42 渥美漁業協同組合の  
皆さん

— 豊川河口の稚貝採取事業の取り組みとは。

数十年前より、アサリの漁獲量が全国的に減少傾向になり、残念ながら我が地域も漁獲量が減少したため、愛知県と田原市の協力を得ながら、豊川河口の六条潟からアサリの稚貝を採取し、自分たちの漁場に運搬している。

— その取り組みによって期待される効果は。

- ① アサリの漁獲量アップを期待している。
- ② 稚貝を保護区で管理しながらの漁であり、親貝が残るため、産卵が期待できる。
- ③ 漁業者たちがさまざまなことを協議し、行動に移すことで、漁業者の意識改革も図られている。

— 現在のアサリの状況は。

年々、アサリの生息個体数が減っており、本年は過去にも例がないほどに不良で、漁業者は厳しい状況である。



— 漁場環境の課題については。

漁場を良い環境にするために課題となっているのは、アサリの天敵であるエイの駆除とツメタガイ及びその卵塊の駆除であり、この作業は昔から漁業者全員で積極的に取り組んでいる。

— 渥美漁業協同組合が目指す将来像は。

「育てる漁業」の確立を目指している。

— 「育てる漁業」の確立に向けた活動は。

- ① 新たなアサリの育成方法の確立。
  - ② 禁漁区や禁漁期間も含めた漁獲体制づくり。
  - ③ 渥美半島の魚介類のブランド化。
  - ④ 海の環境に対する調査研究（ブルーカーボンの取り組み）。
- 未来の漁業者たちの生活が安定し、安心して暮らせる環境になるよう「育てる漁業」を国と県と市と共に推進していきたい。



（聞き手）小川貴夫 令和6年6月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ [gikai@city.tahara.aichi.jp](mailto:gikai@city.tahara.aichi.jp)

## 社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

- 養護盲老人ホーム 福寿園
- 特別養護老人ホーム 田原福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
- ケアハウス パシフィック
- 特別養護老人ホーム 渥美福寿園
- 地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校



## 募集

パートさん  
しその葉の摘み取り作業

内職さん  
しその葉の結束・パック詰め



（応募）まずはお気軽にお電話ください。

**TEL 0531-37-0447**

**（有）前田園芸** 田原市江比間町二字郷中45  
自宅：TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。